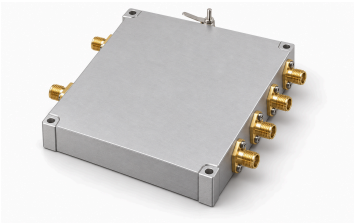
# 5150–5250 MHz 2入力4出力LNA

5150–5250 MHzで2系統の増幅経路を合成して4系統のRF出力へ分配。利得は代表25 dB、雑音指数は代表1 dB、最大1.2 dB。Psat代表5 dBmに出力別条件はありません。

RF端子はSMA-Kメス。代表電源5 V、電流200 mA、貫通給電と独立接地片を採用。出力アイソレーションと位相バランスは未規定です。



## 電気仕様

| 項目 | 値 | 単位 |
|---|---|---|
| 動作周波数 | 5150–5250 | MHz |
| 利得 | 25 (代表値) | dB |
| 雑音指数 [1] | 1 / 1.2 | dB |
| 飽和出力電力（Psat） [2] | 5 (代表値) | dBm |
| 入力S11（資料の符号付き値） [3] | −10 (代表値) | dB |
| 電源電圧 | 5 (代表値) | VDC |
| 動作時電流 | 200 (代表値) | mA |

[1] 代表: 1 dB. 最大: 1.2 dB.

[2] 飽和出力Psatであり、P1dBや保証線形出力ではありません。

[3] 資料の負のS11表記を保持し、正のリターンロスに変換しません。

## 絶対最大定格

| 項目 | 値 | 単位 |
|---|---|---|
| 電源電圧の絶対最大定格 | ≤7 (絶対最大定格。この限界での連続動作や性能は確立されていません。 最大: 7 VDC.) | VDC |
| 入力電力の絶対最大定格 | ≤12 (絶対最大定格。この限界での連続動作や性能は確立されていません。 最大: 12 dBm.) | dBm |
| 動作温度 | −40–+70 | °C |
| 保存温度 | −40–+85 | °C |

## インターフェースと端子

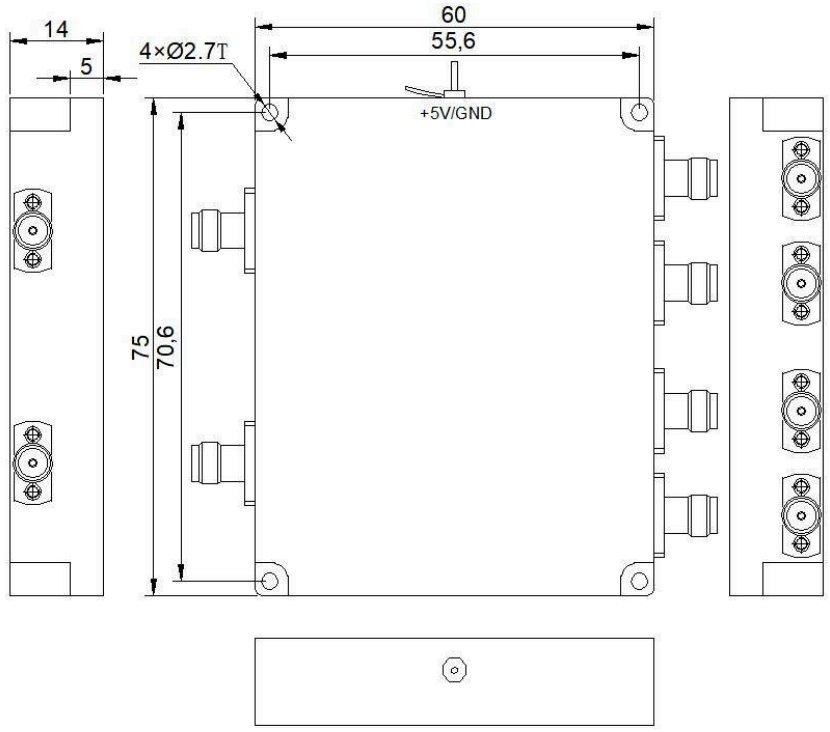
| インターフェース | 仕様 |
|---|---|
| RF入力コネクタ | SMA-Kメス |
| RF出力コネクタ | SMA-Kメス |
| DC電源端子 | 貫通コンデンサ |

## インターフェースと端子

| インターフェース | 仕様 |
|---|---|
| 接地端子 | 接地金属片 |
| RF入力端子数 | 2 |
| RF出力端子数 | 4 |
| 信号経路 | 2入力を個別に増幅、合成後に4出力へ分配 |

## 機械仕様

| 項目 | 値 | 単位 |
|---|---|---|
| 本体寸法 | 75 × 60 × 14 | mm |
| 取り付け穴中心間距離 | 55.6 × 70.6 | mm |
| 取り付け穴 | 4 × Φ2.7T (原図のT表記を保持し、穴の構造は解釈していません。) | mm |




**文書に関する注意**

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。